

狩留家町の小山に 自然の森公園構想

地元NPO 5年がかり

もりメイト倶楽部が協力



山道の階段を整備するもりメイト
倶楽部のメンバーたち

広島市安佐北区狩留家町の住民グループ「NPO狩留家」が、町内の小山を「自然の森公園」にする構想を描いている。県内の森を手入れしている「もりメイト倶楽部（Hiroshima）」（中区）の協力を得て、5年ほどかけて完成を目指す。

（金刺大五）

JR芸備線狩留家駅に近い琴平山（約100㍎）で5月、同倶楽部のメンバー36人が集まった。約6時間にわたって山道を登りやすいように階段を造ったり、荒れた竹林を伐採したりする作業に汗を流した。

構想は、特産野菜「狩留家なす」の栽培を手がけるNP

黒川理事長は「少子高齢化

が進む地域に都市部から多くの人たちが訪れ、交流人口が増えれば」と願う。山本理事長は「森は命の源となっていることを知ってもらふ公園にしたい。町おこしのためにも人手とノウハウを提供する」と意気込む。

